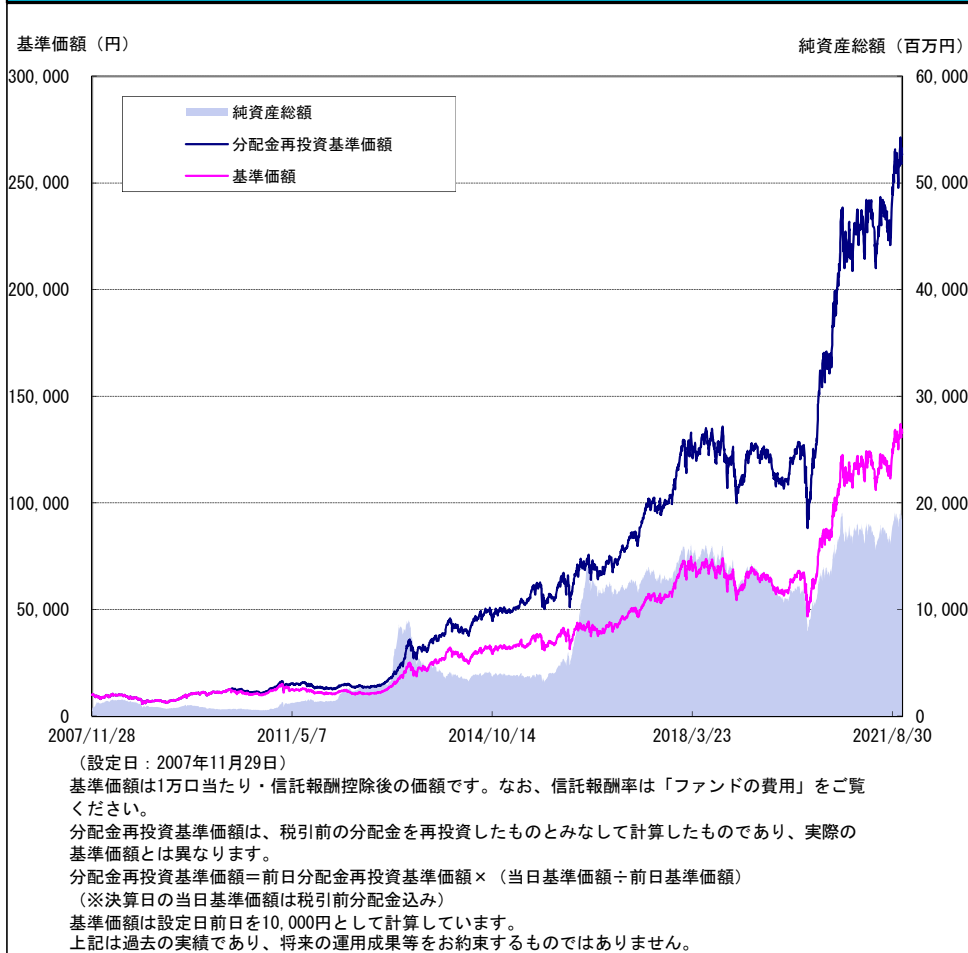


# DIAM新興市場日本株ファンド

追加型投信/国内/株式  
2021年10月29日基準

## 運用実績の推移



## 基準価額・純資産総額

|       |            |
|-------|------------|
| 基準価額  | 133,018 円  |
| 解約価額  | 132,619 円  |
| 純資産総額 | 18,762 百万円 |

※基準価額および解約価額は1万口当たり

## ポートフォリオ構成

|         |        |
|---------|--------|
| 株式      | 99.33% |
| ジャスダック  | 5.98%  |
| 東証マザーズ  | 58.08% |
| その他新興市場 | 0.00%  |
| その他市場   | 35.28% |
| 株式先物    | 0.11%  |
| 株式実質組入  | 99.44% |
| 組入銘柄数   | 115    |

※1 比率は純資産総額に対する割合です。  
※2 新興市場（ジャスダック、東証マザーズ、その他新興市場）とその他の市場に重複して上場している銘柄は、上場している新興市場に分類しています。

## 分配金実績(税引前)※直近3年分

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 第12期 (2019.04.17) | 2,000 円  |
| 第13期 (2020.04.17) | 2,000 円  |
| 第14期 (2021.04.19) | 2,000 円  |
| 設定来累計分配金          | 21,200 円 |

※1 分配金は1万口当たり  
※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 騰落率(税引前分配金再投資)

| 1ヵ月<br>(2021/09/30) | 3ヵ月<br>(2021/07/30) | 6ヵ月<br>(2021/04/30) | 1年<br>(2020/10/30) | 2年<br>(2019/10/31) | 3年<br>(2018/10/31) |
|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1.15%               | 16.00%              | 14.60%              | 24.09%             | 137.36%            | 129.81%            |

※1 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。

| 組入上位10業種 |        | (単位: %) |
|----------|--------|---------|
| No.      | 業種     | 組入比率    |
| 1        | 情報・通信業 | 57.43   |
| 2        | サービス業  | 11.70   |
| 3        | 医薬品    | 6.47    |
| 4        | 卸売業    | 3.72    |
| 5        | 鉱業     | 3.49    |
| 6        | 保険業    | 3.46    |
| 7        | 不動産業   | 2.48    |
| 8        | 建設業    | 2.26    |
| 9        | 電気機器   | 1.72    |
| 10       | 海運業    | 1.64    |

※組入比率は純資産総額に対する割合です。  
※業種は東証33業種分類によるものです。

| 組入上位10銘柄 |           | (単位: %) |
|----------|-----------|---------|
| No.      | 銘柄        | 組入比率    |
| 1        | ENECHANGE | 7.44    |
| 2        | セルソース     | 6.47    |
| 3        | セレス       | 6.08    |
| 4        | ラクスル      | 5.38    |
| 5        | メドレー      | 4.10    |
| 6        | グリー       | 4.00    |
| 7        | ヤブリ       | 3.88    |
| 8        | エアトリ      | 3.55    |
| 9        | アドベンチャー   | 3.48    |
| 10       | マクアケ      | 3.48    |

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※当資料は7枚ものです。  
※P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## D I A M新興市場日本株ファンド

2021年10月29日基準

## 当月のマーケット動向と当ファンドの動き

10月の国内株式市場は下落しました(TOPIX: ▲1.43%、日経平均株価: ▲1.90%)。

上旬は下落しました。原油などの資源価格高騰を背景としたインフレ懸念、並びに米金利上昇が嫌気されたことに加え、岸田新首相が金融所得課税の強化に動くことへの警戒感もあり、成長株を中心に売られる動きとなりました。中旬は反発上昇しました。米製薬大手メルクの新型コロナウイルス経口治療薬の良好な効果が示されたことや、国内の新規感染者数の減少が続くリバウムの気配も見られないことなどから、経済正常化への期待が高まりました。また、岸田首相が金融所得課税の見直しを先送りしたことも支えとなりました。下旬はもみ合う動きとなりました。米国では米企業の良好な決算発表を受けて堅調な株価推移となりましたが、国内では月末に衆議院選挙を控えて様子見ムードとなりました。中国と米国の7-9月期GDP成長率がいずれも鈍化し、世界経済の減速が懸念されたことも重石となりました。

東証33業種別指数では、33業種中10業種が上昇しました。鉱業、非鉄金属、ガラス・土石製品などが騰落率上位となり、一方で、空運業、電気・ガス業、陸運業などが騰落率下位となりました。

当ファンドでは、このような相場サイクルの局面を踏まえ、積極的に運用を行いました。

## 今後のマーケットの見通しと運用方針

当ファンドでは、医療、金融、物流やエネルギー産業などを中心に、社会経済システムの構造変化に注目しています。

エンタープライズ領域では、BtoB SaaS(法人向けを主とする、ソフトウェア・アズ・ア・サービス)の採用など、デジタルイノベーションを通じた事業再構築の動きを評価しています。公的な組織や一次産業においても、同様の動きがみられ、注目しています。

また、個々人のライフスタイルの変化が起点となるケースにも着目しています。働き方や衣・食・住、コンテンツ創造/配信/消費のあり方を変えていることなどから、日々、新たな市場が創造されている点に注目しています。

このような事業の担い手に対して、株式市場を通じて資本を提供することでエンパワーして参ります。受益者のみなさまのリターンを最大にできるよう、最善を尽くして運用を行います。

※上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※当資料は7枚ものです。

※P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

## DIAM新興市場日本株ファンド

2021年10月29日基準

### 組入銘柄個別コメント

#### 【企業名】エイチ・アイ・エス

エイチ・アイ・エスは「自然の摂理にのっとり、人類の創造的発展と世界平和に寄与する」を企業理念に掲げ、旅行事業、テーマパーク事業、ホテル事業等を展開しています。

世界の観光産業は低迷が続いていますが、ワクチン接種の進行に伴い、中長期的にはレジャー需要の回復が見込まれるものとみています。当社旅行事業では、2023年4Qには2019年水準を見込んでいるとのこと（※参考資料 p.30）。

コロナ禍においては、財務基盤の強化（コストカット、手元流動性の確保、設備投資の抑制、資本調達など）、事業ポートフォリオの見直し（新規事業の着手、インターネットビジネス）に着手してきました（※同 p.22-24、28）。当ファンドでは、特に、日本における旅行事業のデジタルトランスフォーメーション「グローバルプラットフォーム構想」の投資対効果に注目しています（※同 p.36-37）。

待望のコロナ収束の兆候が世界的に明確になれば、いつもとは違う景色、人々との出会いを求めて私たちはまた旅に出るでしょう。打ち手の成果は、そのときに現れるものと予測しています。有事をサバイブし、長期的・普遍的な需要に応える事業群に注目して参ります。

※参考資料 2021年10月期第2四半期決算説明会資料  
<https://www.his.co.jp/wp-content/uploads/s0611c.pdf>

#### 【企業名】ヤプリ

「Mobile Tech For All」をミッションに、アプリの開発、運用、分析をノーコード（プログラミング不要）で提供するアプリプラットフォーム「Yappli」を運営しています。アプリ開発の敷居を下げることで、あらゆる企業がテクノロジーにアクセスし、人々のモバイルライフをより便利に快適なものとするプラットフォーム構築を目指しています。

開示によれば、民間企業、行政機構、学校法人、医療機関などさまざまな組織で活用事例があるとされています。マーケティング、エンターテインメント、医療・教育現場など様々なシーンで、エンドユーザーを意識した開発需要が高まっているものと推定しています。

最近の取り組みでは、ノーコード顧客管理アプリ「Yappli CRM」をリリースするなど、活発な開発状況を想定しています。引き続き当社プロダクトを通じて、経済活動を改善するサービスが誕生することに期待します。

※上記は組入銘柄の一部をご紹介しますものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。また、上記銘柄の組入れや保有の継続を示唆・保証するものではありません。

※当資料は7枚ものです。

※P.6の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

## DIAM新興市場日本株ファンド

2021年10月29日基準

### ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

- 新興市場に上場された株式を中心に投資します。
- 個別銘柄選択によってポートフォリオを構築します。
- 年1回の決算で、キャピタルゲインを中心に分配します。
  - ・ 年1回の決算日において、キャピタルゲイン(評価益を含みます。)を中心に分配を行うことをめざします。
  - ・ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
  - ・ 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ※ 市場の再編、統合等があった場合、組入銘柄の指定替えがあった場合、または、資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

### 主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 株価変動リスク……… 当ファンドでは、株式に投資をしますので、株式市場が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となる場合があります。また、当ファンドは新興市場に上場している中小型株式を主要投資対象とします。これらの株式は株式市場全体の動きと比較して価格変動が大きくなるのが一般的であるため、当ファンドの基準価額に影響をおよぼす場合があります。
- 個別銘柄選択リスク…… 当ファンドでは、個別銘柄の選択により超過収益を積み上げることを目標としているため、株式市場全体の動きとは異なる場合があります。したがって、投資した株式の価格変動によっては収益の源泉となる場合もありますが、株式市場全体の動向にかかわらず、当ファンドの基準価額が下がる要因となる場合があります。
- 流動性リスク……… 当ファンドにおいて有価証券等を売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
- 信用リスク……… 当ファンドが投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、株式の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

「DIAM新興市場日本株ファンド」が、『R&Iファンド大賞2021』の「投資信託/国内中小型株式部門」において優秀ファンド賞を受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。選考は2021年3月末における3年間の最大ドロウダウンが下位75%のファンドを対象に、2021年3月末における3年間のシャープ・レシオによるランキングに基づいています。

※当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※当資料は7枚ものです。

※P.6の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

# DIAM新興市場日本株ファンド

2021年10月29日基準

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

|                    |  |
|--------------------|--|
| 購入単位               | 販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)  |
| 購入価額               | 購入申込受付日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)   |
| 購入代金               | 販売会社が定める期日までにお支払いください。   |
| 換金単位               | 販売会社が定める単位   |
| 換金価額               | 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額   |
| 換金代金               | 原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。  |
| 申込締切時間             | 原則として営業日の午後3時までに販売会社が受けたものを当日分のお申込みとします。   |
| 換金制限               | 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。   |
| 購入・換金申込受付の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。  |
| 信託期間               | 2027年11月29日まで(2007年11月29日設定)   |
| 繰上償還               | 次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することができます。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。</li> <li>・受益者のために有利であると認めるとき。</li> <li>・やむを得ない事情が発生したとき。</li> </ul>     |
| 決算日                | 毎年4月17日(休業日の場合は翌営業日)   |
| 収益分配               | 年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。<br>※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。   |
| 課税関係               | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。<br>原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。<br>公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。<br>※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。 |

**ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

以下の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。  
 ※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <b>●投資者が直接的に負担する費用</b>      |  |
| 購入時手数料                      | 購入価額に、 <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。  |
| 換金手数料                       | ありません。   |
| 信託財産留保額                     | 換金申込受付日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。  |
| <b>●投資者が信託財産で間接的に負担する費用</b> |  |
| 運用管理費用(信託報酬)                | ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.672%(税抜1.52%)</b>   |
| その他の費用・手数料                  | その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。<br>・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等<br>※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |

※当資料は7枚ものです。

※P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

# DIAM新興市場日本株ファンド

2021年10月29日基準

## 投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## 当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点(2021年11月10日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

### ◆収益分配金に関する留意事項◆

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

### ◆委託会社およびファンドの関係法人◆

- <委託会社>アセットマネジメントOne株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会
- <受託会社>みずほ信託銀行株式会社  
 <販売会社>販売会社一覧をご覧ください

### ◆委託会社の照会先◆

- アセットマネジメントOne株式会社  
 コールセンター 0120-104-694  
 (受付時間:営業日の午前9時～午後5時)
- ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>



**REFINITIV LIPPER  
FUND AWARDS**

**2021 WINNER  
JAPAN**

「DIAM新興市場日本株ファンド」が、  
 「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2021」において『最優秀ファンド』(株式型 日本 中小型株(評価期間:5年、10年))を受賞しました。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、[lipperfundawards.com](http://lipperfundawards.com)をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

選考は、2020年末時点で、日本国内で販売登録されているファンドのうち、36ヶ月以上の運用実績があるファンド並びに2021年4月1日以降に償還を迎えるファンドが評価対象です。

※ 当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※当資料は7枚ものです。



アセットマネジメントOne

# DIAM新興市場日本株ファンド

2021年10月29日基準

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2021年11月10日現在

| 商号  | 登録番号等                     | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 備考 |
|---|---------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|----|
| PayPay銀行株式会社                              | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号    | ○       |                 | ○               |                    |    |
| 株式会社広島銀行                                  | 登録金融機関 中国財務局長(登金)第5号      | ○       |                 | ○               |                    |    |
| auカブコム証券株式会社                              | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号   | ○       | ○               | ○               |                    |    |
| 池田泉州TT証券株式会社                              | 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号  | ○       |                 |                 |                    |    |
| エース証券株式会社                                 | 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号    | ○       |                 |                 |                    |    |
| 株式会社SBI証券                                 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号   | ○       |                 | ○               | ○                  |    |
| 岩井コスモ証券株式会社                               | 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号   | ○       |                 | ○               |                    |    |
| 立花証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第110号  | ○       |                 | ○               |                    |    |
| 楽天証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号  | ○       | ○               | ○               | ○                  |    |
| 東海東京証券株式会社                                | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号  | ○       |                 | ○               | ○                  |    |
| 東武証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第120号  | ○       |                 |                 |                    |    |
| 東洋証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  | ○       |                 |                 | ○                  |    |
| 内藤証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号   | ○       |                 |                 | ○                  |    |
| SMBC日興証券株式会社                              | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 | ○       | ○               | ○               | ○                  |    |
| マネックス証券株式会社                               | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  | ○       | ○               | ○               | ○                  |    |
| 株式会社証券ジャパン                                | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号  | ○       |                 |                 |                    |    |
| ばんせい証券株式会社                                | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号  | ○       |                 |                 |                    |    |
| フィデリティ証券株式会社                              | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号  | ○       | ○               |                 |                    |    |
| 丸三証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号  | ○       |                 |                 |                    |    |
| 三木証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第172号  | ○       |                 |                 |                    |    |
| リテラ・クリア証券株式会社                             | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号  | ○       |                 |                 |                    |    |
| 水戸証券株式会社                                  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号  | ○       | ○               |                 |                    |    |
| オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第622号    | ○       |                 |                 |                    | ※1 |
| 四国アライアンス証券株式会社                            | 金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第21号   | ○       |                 |                 |                    | ※1 |
| 岡三にいがた証券株式会社                              | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号  | ○       |                 |                 |                    | ※1 |

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。  
 また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。  
 <備考欄について>  
 ※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。  
 ※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。  
 ※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※当資料は7枚ものです。

※P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne